

つなぐ
届ける
ゆたかなくらし

UR **おも**

—— 社会課題を、超えていく。 ——

 UR 都市機構
<https://www.ur-net.go.jp/>

団地イベントピックアップ!	4
私もだんち特派員	5
ボディメンテナンス講座／くらしの知恵	6
かんたんヨガ	7
簡単おうちレシピ／プレゼント	8

編集・制作 ㈱高速オフセット

団地 de ミック!

晴天の公園に笑顔が集う 防災と文化を楽しむ「多聞台フェスタ」

多聞台

(神戸市垂水区)

毎回テーマを決めて、団地生活の魅力を紹介する「団地deミック」。2月号は11月24日に、多聞台中央公園で行われた「多聞台フェスタ」の様相を紹介します。



迫力の和太鼓で 会場に響く

11月24日、多聞台中央公園で「多聞台フェスタ」が開催されました。当日は雲ひとつない晴天に恵まれ、地域にお住まいの方を中心に多くの人が来場。防災体験やステージイベント、飲食ブースが並び、子どもから大人まで思い思いに楽しむ姿が見られました。

オープニングを飾ったのは、「多聞だんだん」による和太鼓演奏です。力強い音が公園に響き渡ると、足を止めて見入る人の輪が自然と広がり、演奏のたびに大きな拍手が送られました。

躍動感あふれる動きと迫力ある音色に、スマートフォンやカメラを構えて写真を撮る来場者も多く、会場は一気に華やかな雰囲気になりました。

防災・防犯を 楽しみながら学ぶ

続いて登場したのは、兵庫県警察の学生ボランティア「ブルーフェニックス隊」です。警察と協力して防犯講座などを行っている同隊が、子どもたちに身近な防犯をテーマにした寸劇を披露しました。ユーモアを交えたやりとりで会場からは笑い声が上がリ、楽し

みながら防犯について学ぶ時間となりました。

防災コーナーでは、水消火器体験や防災パネル展示が行われました。消火器体験には子ども連れの家族が多く参加し、スタッフの説明を受けながら的に向かって水を噴射します。少し緊張した表情で挑戦していた子どもたちも、的が倒れると笑顔を見せ、遊びの延長のような体験を通して防災を身近に感じている様子でした。

午後には、兵庫県警察音楽隊とカラーガード隊「HOPPS」による演奏が行われました。開始前から多くの人がステージ前に集まり、会場はこの日一番のにぎわいを見せます。流行の曲から定番曲まで幅広い演奏に、観客は手拍子をしたり体を揺らしたりしながら楽しみ、歌による「特殊詐欺予防」の注意喚起など警察音楽隊ならではの一幕も見られました。

笑顔で人を つなぐ一日

飲食ブースや各種催しも終始にぎわい、会場のあちこちで会話と笑顔が生まれていました。防災と防犯を学び、音楽を楽しみ、食を囲んで交流する多聞台フェスタは、地域の人々が自然につながる、あたたかな一日となりました。

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター ☎ 0570-004-001
(または ☎ 06-6969-2151)